

新年を迎えはじける笑顔

12月31日、「行田ゆく年くる年」が忍城址鐘楼付近で開催されました。

大みそかの恒例イベントであるこの催しには家族連れや友達同士など大勢の人が忍城址を訪れ、新たな気持ちで新年を迎えようと、力いっぱい鐘を突いていました。また、午前0時のカウントダウンを行った来場者は、新年を迎えることができる喜びを感じながら、うれしそうな表情で新年の幕開けを祝い合っていました。



796人が大人の仲間入り

1月10日、産業文化会館ホールで平成28年行田市新成人を祝う会が行われました。

この式典は毎年、実行委員会のメンバーが中心となって開催されています。中学校ごとに作成したスライドがステージ上の大きなスクリーンに映し出されると、当時の楽しい思い出がよみがえったのか、会場ではたくさんの参加者の笑顔が見られました。また、抽選会も行われ豪華景品が当たると大きなよめきが。この日新たに大人の仲間入りを果たした新成人の皆さんは、久しぶりに再会する友人との貴重な時間を有意義に過ごしているようでした。



良い年になるよう願いを込めて

1月1日、「古代蓮会館迎春企画タワーからみんなで見よう初日の出」が開催されました。

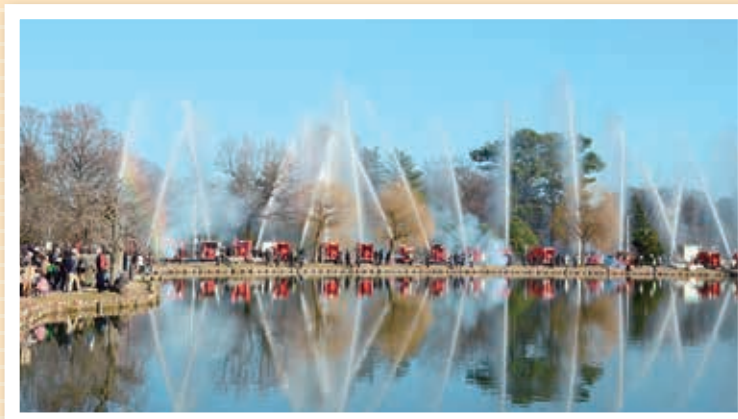
毎年恒例のイベントとあって、今年も開場前から多くの来場者が同館を訪れました。その数200人以上。そして、午前6時53分、地平線から太陽が昇り始めると、来場者は両手を合わせて拝んだり、記念撮影をしたりと思い思いに1年の幕開けを祝っていました。また、晴天に恵まれたおかげで富士山も見ることができ、すがすがしい一年の始まりとなりました。



1年の始まりに防災意識を高める

1月9日、「消防出初式」が産業文化会館、市役所前および水城公園で開催されました。

新春の風物詩ともいえるこの催しは、消防団員の結束の強化および市民の防災意識の向上を目的に毎年開催されています。当日は、服装規律点検をはじめ、とび組合によるはしご演技、消火訓練の模範演技などが実施され、来場者から熱い視線が送られていました。そして最後には、消防車と県防災ヘリコプターの一斉放水訓練が行われ、会場は大きな歓声に包まれました。



ホールに響く情熱のハーモニー

12月23日、産業文化会館で「スクールバンドフェスティバル」が開催されました。

今年で24回目を迎えるこの催しに、市内の小・中学校および高校全9校の金管バンドクラブや吹奏楽部が出演。最近のヒット曲やディズニーソングなどなじみのある曲を中心に、堂々とした演奏を披露しました。また、最後に出場校全体で「つばさをください」を演奏し、締めめにふさわしい力強い音色をホールいっぱいに響かせていました。

